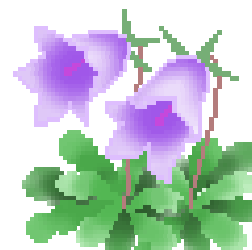


精神科で使われる「漢方薬」



○漢方治療の特性

漢方薬は、現代医学的な病名ではなく、漢方医学的な診断、すなわち“証”に合わせて処方されます。

それゆえ、同じ「かぜ症状」でも、イさんにはAという漢方薬、ロさんにはBという漢方薬、ハさんにはCという漢方薬となります。つまり、個人の症状や体力に応じて用いる薬が変わるのです。

○精神疾患に対する漢方治療の実例

精神疾患に対する漢方治療は、①漢方薬単独での治療、②精神薬のお薬の作用を補う形としての漢方薬併用療法、③精神薬のお薬の副作用に対する漢方薬併用療法の3つに分類されます。

①漢方薬単独での治療に用いられる主な漢方薬と使用例

漢方薬	読み方	使用例
加味逍遙散	カシヨウヨウサン	月経前不快気分障害
柴胡加竜骨牡蛎湯	サイコカリウコツホレイトウ	神経症（不安障害）
抑肝散	ヨクカンサン	アルツハイマー型認知症

②漢方薬併用療法に用いられる主な漢方薬と使用例

漢方薬	読み方	使用例
黄連解毒湯	オウレンゲトクトウ	不眠や興奮（イライラ）
補中益気湯	ホチュウエキトウ	体力低下（無気力）
半夏厚朴湯	ハンゲコウホクトウ	のどがつまっている感じ
大建中湯	ダイケンチュウトウ	腹痛や腹部膨満感

③副作用に対する漢方薬併用療法に用いられる主な漢方薬と使用例

漢方薬	読み方	使用例
五苓散	ゴレイサン	嘔気、胃部不快感
白虎加人参湯	ヒャッコカニンジントウ	口の渇き
麻子仁丸	マシニンガン	便秘